

研究課題名	皮膚腫瘍切除標本における臨床病理学的特徴及び予後因子に関する後ろ向き研究
研究の意義・目的	近年、腫瘍組織における特定の分子発現や遺伝子異常が、腫瘍の性質や治療反応性、臨床経過と関連することが報告されています。 本研究では、皮膚腫瘍切除標本を用いて免疫染色および遺伝子解析を行い、分子発現や遺伝子異常と臨床病理学的因子との関連を検討します。これにより、皮膚腫瘍の病態解明や、新たな診断・治療法の開発につながる知見を得ることを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2011 年 4 月～2026 年 5 月に、大阪市立大学医学部附属病院、あるいは大阪公立大学医学部附属病院形成外科において、皮膚腫瘍に対する手術を受けられた方を対象とします。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた以下の情報および既存試料を研究に使用させていただきます。 (診療情報) ・患者基本情報：年齢、性別、診断名 ・臨床情報：腫瘍部位、腫瘍径、治療内容、手術術式、治療経過、血液検査結果、画像検査結果 ・病理検査結果：病理組織診断、組織型、浸潤深度、切除断端、脈管侵襲、神経周囲浸潤、潰瘍形成の有無 ・転帰情報：再発の有無、転移の有無、最終観察日、予後 (試料) 過去の診療で採取された病理組織標本、パラフィンブロック
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科形成外科学のみで行います。 研究責任者：大阪公立大学病院 形成外科 元村尚嗣
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報および試料は、氏名やカルテ番号等の個人情報を削除し、研究用番号を付与したうえで管理します。 研究結果を学会や論文等で公表する場合も、個人が特定されることはありません。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 形成外科 担当者氏名：元村 尚嗣 電話番号：(06) 6645-3381

